
超能力者達の雑談

リリカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

超能力者達の雑談

【Nコード】

N8912E

【作者名】

リリカ

【あらすじ】

絶対可憐チルドレンですおまけもついてます

「明石 薫 ? 歳 サイコキノです!」

「犬神 初音 ? 歳 なんかいろんな能力混ざってる」

「え いろんな能力ってどんな?」

「いっぱいあって何ていえばいいのかわからない」

「あ 本当」

「でも初音強いよ」

「うん そうだね」

「そうか 時がたつのも早いね 私ももう中学生だし」

「えじゃあ歳も分かるんじゃない?」

「誕生日が秘密だから」

「なるほど」

「それより姉サン土産もってきた」

とバックからでてきたものは

ウサギ

「え・・・これどうしろと?」

「食え」

「ムリムリ とゆーか生で食べれるわけないでしょ
生じゃなくても食べたくないよ」

「ふーん じゃあ 初音が食べる」

すると生きていたのかウサギは逃げ出した

「あつ 獲物! 待てー!」

といて待ったら地獄を見ることになる
初音は完全にハンターの気持ちになって
どこかへ行ってしまった

おいてかれた薫は

「・・・帰ろ」

おまけ

作者と対談

作「こにちは」

薫「うつわやる気なさそうないさつ」

作「ごめんごめん でも薫ちゃん 私さ一応掛け持ちしてるでしょ？
あつちのトリック今真剣に悩んでるんだ」

薫「もう後戻りできないもんね」

作「さっすが分かってらっしゃる」

薫「ちゃんと終わらしてよね」

作「そのつもりです」

薫「ところでなにか言いたい事があるようだけど」

作「あ、はい 「紫陽花の屋敷」が終わった後はみなさんのリクエストで小説を書いていこうと
思っているの リクエストよろしくです」

薫「もしリクエストなかったら？」

作「そのときはそのときです、自分で考えた小説を書いていきたい
です」

薫「頼りない人だね」

作「もちろん 内心 毎日ヒヤヒヤしてる」

薫「何で？」

作「失敗したらどうしようとかなんかトラブルが起きたらどうしようとか」

薫「じゃあどうしてこれ作ったの？」

作「友達からのリクエスト、話したら「初音書いてほしい」って」

薫「あ、だからか 初音ができたのは」

作「うん」

薫「それじゃ お開きにしますか」

作「あ、はい」

完

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8912e/>

超能力者達の雑談

2010年10月28日08時35分発行